



温故知新



花粉に打ち勝て

徐々に陽気がよくなり、花粉症の人にとっては大変な季節になってきたのではないのでしょうか。すでに花粉症の人はもちろん、誰でも明日突然花粉症になってしまう可能性があります。鼻水、目のかゆみ…花粉症はどのように対策すればいいのでしょうか？

そもそも花粉症とは…？

花粉症の正式名称は「季節性アレルギー性鼻炎」といい、花粉が粘膜に接することで表れる免疫反応が過剰に作用してしまうことによっておこる病気です。なぜ花粉症になるのかはまだ分かっていませんが、大気汚染や食生活の悪化、ストレスなど様々な原因が考えられています。そのため長期間花粉にさらされていたり、汚れた空気の中で生活していると、粘膜が花粉に敏感になり、花粉症になってしまうのです。



①花粉を体から落とす！！

家に着いたらまず洋服をたたいて花粉を落とす。そのあとは手洗いうがいや目鼻の洗浄、お風呂に入って家の中に花粉を持ち込まないようにしよう。

②外出は花粉が多く飛ぶ時を避ける

花粉が増えるのは

- ・気温が高く風の強い日
- ・雨が降った日の翌日

またニュースの花粉情報も参考に。



③眼鏡・帽子・マスクの3点セットで外出

つるつるした上着を着るのも効果的。まだ花粉症でない人の予防にもなります。

花粉症対策はこうする！

【今号の主な内容】

- P① 花粉症に打ち勝て
- P② 迷惑メールに気を付けよう
- P③ 可搬式作業台使用ルール再確認
- P④ ことわざ・次回案内

発行

野田工業 株式会社
東京都中央区銀座6-6-19
TEL : 03-3572-1866

ことわざ・格言にならう安全衛生訓

- 賢人は危うきを見ず ●
- ・KYや点検で危険を排除



「賢人は危うきを見ず」とは、賢人、つまり利口な人は、危険だと思うところへは、はじめから近寄ったりはしないので、危ない目に遭ったりはしないという意味です。

職場で実施されているKYK(危険予知活動)は、危険を事前に予知・予測して危ないことを排除し、危険な目に遭わないようにしようとする活動ですから、KYKを率先して行っている人は立派な賢人です。

また、機械や設備、環境などの日常点検も危険な目に遭わないようにする大切な手段です。安全衛生点検は、現在の状態を十分見きわめ、小さな異変を発見して処置し、事故や災害を未然に防ぐ役目をするものです。決められた点検基準に従って、しっかり点検を行いましょう。

「賢人は危うきを見ず」の反対に「虎穴に入らずんば虎子を得ず」ということわざがあります。つまり、危険を冒さなければ目的が果たせないということですが、我々は危険を冒さなくても作業の目的が果たせるようKYや点検活動を進めましよう。

【 職長会のお知らせ 】

- ★日時 2022年4月20日(水)
- ★時間 18時00分～
- ★会場 銀座ユニーク 3階





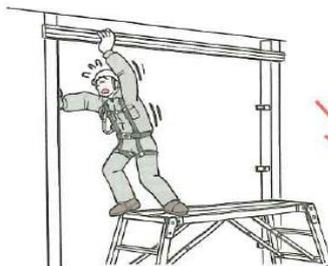
可搬式作業台 使用ルール再確認



可搬式作業台は、脚立と比べると安全性が高く、比較的手軽に使えるため、工事現場で活用されています。墜落防止の感知バーなども設けられ安全性が増していますが、高さが2m未満ということもあり、「あなどり」による災害が多くみられます。



据え付け場所が悪かった(側溝、穴、養生中のスリーループ等の近くや上部)ため脚が落ち込み、バランスを崩し転落



身を乗り出して作業していて転落



反動作業中(はつり作業や電線ケーブルの引き出し等)にバランスを崩し転落



可搬式作業台へ飛び移ろうとして転落

作業開始前点検が不十分だったので不具合が生じ転落



使用安全ルール

1. 作業開始前点検を確実にを行う
2. 設置場所は適正かを見きわめる
3. 工具や材料を持って昇降しない
4. 背を向けて降りない
5. 身を乗り出して作業しない
6. 反動作業はしない
7. 飛び移らない
8. 専用部材を使用して連結

少しでも高低差がある場所での作業ならどこでも墜落・転落災害は起こります! 「あなどる」ことなくルールを守って使用しましょう!



迷惑メールに気を付けよう



ここ最近迷惑メールの被害が増えてきています。よく知る人だったり、よく利用する業者を名乗って送られてくる迷惑メール。よく見ずにうっかり開いてしまったがためにウイルスに感染、ということも大いにあります。

迷惑メールの種類

1. 広告宣伝メール：商品やサービス、サイトの宣伝
2. 架空請求メール：法外なサイト利用料を要求する
3. 詐欺メール：お金や情報をだまし取ろうとする詐欺目的
4. ウイルスメール：ウイルス感染を目的とする



**これらのメールの中でも最近ではウイルスメールが特に増加！
ウイルスメールに感染すると…**

- メールを送るたびに相手にウイルスまで送ってしまい、気づかぬうちにウイルスをばらまく犯人になってしまう
- パソコンが外部から遠隔操作されて迷惑メールを大量に送信してしまう
- パソコンが動作の途中で止まってしまう
- パソコン内に保存している情報が盗まれる
- 保存していたデータが破壊される、または削除される
- パソコンやソフトウェアが正常に動かない（ブラウザが立ち上がらない等）



もしもウイルスメールが届いてしまったら…？

①メールを開かない(無視する)

すべてのメールは、ひとまず、件名や送信者などを確認するだけにしましょう。件名で「確認」「重要」「セキュリティ」などを強調している場合要注意！

②リンクをクリック・タップしない

サイトで確認をしたいときは、メールのリンクを開かず、公式アプリか、サイトのブックマークからアクセスするようにしましょう。

③入力しない

クレジットカード番号やID・パスワードなどの入力や確認を求められても、絶対に入力しないようにしましょう。個人情報や要求するあやしいメールを受け取った際は、直接、利用会社に問い合わせを行うなどの確認が必要です。

④ウイルス対策ソフトを利用する

インターネット上のサービスの利用やUSBメモリなどの外部記憶媒体を通じてコンピューターウイルスに感染する危険性があります。ウイルス感染の危険性を軽減するために、ウイルス対策ソフトを利用しましょう。(例)ウイルスバスター、カスペルスキー